



ノード設定の変更

この章では、Cisco ONS 15454 SDH のノード設定を変更する方法について説明します。新規ノードのプロビジョニングについては、第4章「ノードの立ち上げ」を参照してください。ネットワーク要素（NE）のデフォルト設定の変更と、それらの設定の一覧表示については、『Cisco ONS 15454 SDH Reference Manual』の付録「Network Element Defaults」を参照してください。

準備作業

次の手順を実行する前に、すべてのアラームを調べて、問題をすべて解決しておいてください。必要に応じて、『Cisco ONS 15454 SDH Troubleshooting Guide』を参照してください。

この章では次の NTP（手順）について説明します。適用する DLP（作業）については、各手順を参照してください。

1. [NTP-D81 ノード管理情報の変更 \(p.11-2\)](#) — ノード名、連絡方法、緯度、経度、日付、時刻、およびログイン時の法的免責事項の説明を変更する場合は、必要に応じてこの手順を実行します。
2. [NTP-D201 CTC ネットワーク アクセスの変更 \(p.11-3\)](#) — IP アドレス、デフォルト ルータ、サブネットマスク、ネットワーク構成の設定、およびスタティック ルートを変更する場合は、必要に応じてこの手順を実行します。
3. [NTP-D327 OSI プロビジョニングの変更 \(p.11-4\)](#) — Open System Interconnection (OSI; 開放型システム間相互接続) ルーティング モード、Target Identifier Address Resolution Protocol (TARP)、ルータ、サブネット、IP-over-CLNS トンネルなど、OSI パラメータを変更する場合は、必要に応じてこの手順を実行します。
4. [NTP-D202 CTC ネットワーク ビューのカスタマイズ \(p.11-5\)](#) — ドメインを作成したりネットワーク マップの体裁をカスタマイズしたりする場合は、必要に応じてこの手順を実行します。これらの手順には、異なるデフォルト マップの指定、ドメインの作成、独自マップやイメージの選択、背景色の変更などが含まれています。
5. [NTP-D203 カード保護設定の変更または削除 \(p.11-6\)](#) — 必要に応じて、この手順を実行します。
6. [NTP-D277 通信チャネルの終端とプロビジョニング可能なパッチコードの変更または削除 \(p.11-7\)](#) — Regenerator Section Data Communications Channel (RS-DCC) および Multiplex Section Data Communications Channel (MS-DCC) の終端の変更または削除を行う場合、およびプロビジョニング可能なパッチコードを削除する場合は、必要に応じてこの手順を実行します。
7. [NTP-D85 ノードのタイミング変更 \(p.11-8\)](#) — 必要に応じて、この手順を実行します。
8. [NTP-D205 ユーザの変更とセキュリティの変更 \(p.11-9\)](#) — 必要に応じて、この手順を実行します。
9. [NTP-D87 SNMP の設定変更 \(p.11-10\)](#) — 必要に応じて、この手順を実行します。

NTP-D81 ノード管理情報の変更

目的	この手順では、ノード名、日付、時刻、連絡方法、およびログイン時の法的免責事項の説明を変更します。
工具 / 機器	なし
事前準備手順	NTP-D316 名前、日付、時刻、連絡先情報の設定 (p.4-5)
必須 / 適宜	適宜
オンサイト / リモート	オンサイトまたはリモート
セキュリティ レベル	スーパーユーザ

ステップ 1 設定を変更するノードで、「[DLP-D60 CTC へのログイン \(p.17-53\)](#)」を行います。すでにログインしている場合は、ステップ 2 へ進みます。

ステップ 2 「[NTP-D108 データベースのバックアップ \(p.15-6\)](#)」を実行します。

ステップ 3 ノードビューで、**Provisioning > General** タブをクリックします。

ステップ 4 「[DLP-D140 ノード名、日付、時刻、および連絡先の変更 \(p.18-33\)](#)」を実行します。

ステップ 5 必要に応じて、「[DLP-D265 ログイン時の法的免責事項の説明の変更 \(p.19-79\)](#)」を行います。

ステップ 6 変更内容を確認したら、「[NTP-D108 データベースのバックアップ \(p.15-6\)](#)」を実行します。

終了：この手順は、これで完了です。

NTP-D201 CTC ネットワーク アクセスの変更

目的	この手順では、IP の設定、スタティック ルート、および OSPF オプションといった基本的なネットワーク情報を変更します。
工具 / 機器	なし
事前準備手順	NTP-D169 CTC ネットワーク アクセスの設定 (p.4-8)
必須 / 適宜	適宜
オンサイト / リモート	オンサイトまたはリモート
セキュリティ レベル	スーパーユーザ



(注)

IP アドレッシングの例やスタティック ルートのシナリオ、また Open Shortest Path First (OSPF) プロトコルや Routing Information Protocol (RIP) のオプションなど、ONS 15454 SDH のネットワークと手順に関するその他の情報については、『Cisco ONS 15454 SDH Reference Manual』の「Management Network Connectivity」の章を参照してください。

ステップ 1 「[DLP-D60 CTC へのログイン](#)」 (p.17-53) を実行します。すでにログインしている場合は、ステップ 2 へ進みます。

ステップ 2 「[NTP-D108 データベースのバックアップ](#)」 (p.15-6) を実行します。

ステップ 3 必要に応じて次の作業を行います。

- [DLP-D266 IP 設定の変更](#) (p.19-80)
- [DLP-D142 スタティック ルートの変更](#) (p.18-35)
- [DLP-D143 スタティック ルートの削除](#) (p.18-36)
- [DLP-D100 プロキシ トンネルの削除](#) (p.18-1)
- [DLP-D101 ファイアウォール トンネルの削除](#) (p.18-1)
- [DLP-D144 OSPF のディセーブル化](#) (p.18-36)
- [DLP-D85 ノードセキュリティのロック](#) (p.17-86)
- [DLP-D86 MIC-C/T/P ポートの IP 設定のセキュリティ モードでの修正](#) (p.17-87)
- [DLP-D87 ノードのセキュリティ モードのディセーブル化](#) (p.17-88)

ステップ 4 「[NTP-D108 データベースのバックアップ](#)」 (p.15-6) を実行します。

終了：この手順は、これで完了です。

NTP-D327 OSI プロビジョニングの変更

目的	この手順では、OSI ルーティング モード、TARP、ルータ、サブネット、および IP-over-CLNS トンネルなど、ONS 15454 の OSI パラメータを変更します。
工具 / 機器	なし
事前準備手順	NTP-D326 OSI のプロビジョニング (p.4-15)
必須 / 適宜	適宜
オンサイト / リモート	オンサイトまたはリモート
セキュリティ レベル	プロビジョニング以上のレベル



(注) ONS 15454 に実装されている OSI の詳細については、『*Cisco ONS 15454 SDH Reference Manual*』の「Management Network Connectivity」の章を参照してください。

ステップ 1 「[DLP-D60 CTC へのログイン \(p.17-53\)](#)」を実行します。すでにログインしている場合は、ステップ 2 へ進みます。

ステップ 2 「[NTP-D108 データベースのバックアップ \(p.15-6\)](#)」を実行します。

ステップ 3 必要に応じて次の作業を行います。

- [DLP-D166 TARP 動作パラメータのプロビジョニングまたは変更 \(p.18-58\)](#)
- [DLP-D167 TARP データ キャッシュへのスタティック TID/NSAP エントリの追加 \(p.18-60\)](#)
- [DLP-D168 TARP データ キャッシュからのスタティック TID/NSAP エントリの削除 \(p.18-61\)](#)
- [DLP-D169 TARP MAT エントリの追加 \(p.18-61\)](#)
- [DLP-D175 TARP MAT エントリの削除 \(p.18-66\)](#)
- [DLP-D178 OSI ルーティング モードの変更 \(p.18-70\)](#)
- [DLP-D179 OSI ルータ設定の編集 \(p.18-72\)](#)
- [DLP-D180 OSI サブネットワーク ポイントオブアタッチメントの編集 \(p.18-72\)](#)
- [DLP-D181 IP-over-CLNS トンネルの編集 \(p.18-73\)](#)
- [DLP-D182 IP-over-CLNS トンネルの削除 \(p.18-74\)](#)

ステップ 4 「[NTP-D108 データベースのバックアップ \(p.15-6\)](#)」を実行します。

終了：この手順は、これで完了です。

NTP-D202 CTC ネットワーク ビューのカスタマイズ

目的	この手順では、CTC のネットワーク ビューを変更します。各ノードをドメイン別にグループ化して見やすくしたり、ネットワーク ビューの背景色を変更したり、ネットワーク ビューの背景にカスタムイメージを使用したりすることができます。
工具 / 機器	なし
事前準備手順	なし
必須 / 適宜	適宜
オンサイト / リモート	オンサイトまたはリモート
セキュリティ レベル	プロビジョニング以上のレベル

ステップ 1 「DLP-D60 CTC へのログイン」 (p.17-53) を実行します。すでにログインしている場合は、ステップ 2 へ進みます。

ステップ 2 必要に応じて、次の作業を行います。

- [DLP-D145 ネットワーク ビューの背景色変更 \(p.18-37\)](#)
- [DLP-D435 ネットワーク ビューのデフォルト背景マップの変更 \(p.21-27\)](#)
- [DLP-D268 ネットワーク ビューへのカスタム背景マップの適用 \(p.19-81\)](#)
- [DLP-D148 ドメインアイコンの作成 \(p.18-42\)](#)
- [DLP-D149 ドメインアイコンの管理 \(p.18-43\)](#)
- [DLP-D393 TDM と DWDM のネットワーク ビュー切り替え \(p.20-86\)](#)
- [DLP-D269 ダイアログボックスを非表示にするオプションのイネーブル化 \(p.19-82\)](#)
- [DLP-D215 ネットワーク ビューでのリンク統合 \(p.19-13\)](#)

終了：この手順は、これで完了です。

NTP-D203 カード保護設定の変更または削除

目的	この手順では、カード保護の設定を変更または削除します。
工具 / 機器	なし
事前準備手順	NTP-D170 保護グループの作成 (p.4-11)
必須 / 適宜	適宜
オンサイト / リモート	オンサイトまたはリモート
セキュリティ レベル	プロビジョニング以上のレベル



注意

保護グループの変更や削除はサービスに影響することがあります。

ステップ 1 「[DLP-D60 CTC へのログイン \(p.17-53\)](#)」を行います。すでにログインしている場合は、ステップ 2 へ進みます。

ステップ 2 「[NTP-D108 データベースのバックアップ \(p.15-6\)](#)」を実行します。

ステップ 3 必要に応じて次の作業を行います。

- [DLP-D150 1:1 保護グループの変更 \(p.18-44\)](#)
- [DLP-D152 1:N 保護グループの変更 \(p.18-46\)](#)
- [DLP-D154 1+1 保護グループの変更 \(p.18-49\)](#)
- [DLP-D155 保護グループの削除 \(p.18-49\)](#)

ステップ 4 「[NTP-D108 データベースのバックアップ \(p.15-6\)](#)」を実行します。

終了：この手順は、これで完了です。

NTP-D277 通信チャネルの終端とプロビジョニング可能なパッチコードの変更または削除

目的	この手順では、ONS 15454 SDH の RS-DCC または MS-DCC 終端を変更または削除します。また、ONS 15454 SDH でプロビジョニング可能なパッチコードを削除します。
工具 / 機器	なし
事前準備手順	DLP-D363 RS-DCC 終端のプロビジョニング (p.20-71) DLP-D364 MS-DCC 終端のプロビジョニング (p.20-73) DLP-D40 プロビジョニング可能なパッチコードの作成 (p.17-34)
必須 / 適宜	適宜
オンサイト / リモート	オンサイトまたはリモート
セキュリティ レベル	プロビジョニング以上のレベル

ステップ 1 「[DLP-D60 CTC へのログイン](#)」(p.17-53) を実行します。すでにログインしている場合は、ステップ 2 へ進みます。

ステップ 2 **Provisioning > Comm Channels** タブをクリックします。

ステップ 3 必要に応じて次の作業を行い、通信チャネルの終端を変更します。

- [DLP-D359 RS-DCC 終端の変更 \(p.20-67\)](#)
- [DLP-D358 MS-DCC 終端の変更 \(p.20-67\)](#)

ステップ 4 必要に応じて次の作業を行い、通信チャネルの終端を削除します。

- [DLP-D360 RS-DCC 終端の削除 \(p.20-68\)](#)
- [DLP-D362 MS-DCC 終端の削除 \(p.20-70\)](#)

ステップ 5 必要に応じて、「[DLP-D41 プロビジョニング可能なパッチコードの削除](#)」(p.17-36) を実行します。

終了：この手順は、これで完了です。

NTP-D85 ノードのタイミング変更

目的	この手順では、ONS 15454 SDH に設定されている SDH タイミングを変更します。
工具 / 機器	なし
事前準備手順	NTP-D28 タイミングの設定 (p.4-10)
必須 / 適宜	適宜
オンサイト / リモート	オンサイトまたはリモート
セキュリティ レベル	プロビジョニング以上のレベル

-
- ステップ 1** 「[DLP-D60 CTC へのログイン \(p.17-53\)](#)」を実行します。すでにログインしている場合は、ステップ 2 へ進みます。
- ステップ 2** 「[NTP-D108 データベースのバックアップ \(p.15-6\)](#)」を実行します。
- ステップ 3** 必要に応じて、「[DLP-D157 ノードのタイミング ソース変更 \(p.18-50\)](#)」を実行します。
- ステップ 4** 内部タイミングの設定を変更する場合は、変更する設定について「[DLP-D70 内部タイミングの設定 \(p.17-66\)](#)」を実行してください。



注意

内部タイミングは Stratum 3 なので、一時的にしか使用しません。ONS 15454 SDH のタイミングは、すべて Stratum 2 以上のプライマリ基準ソースに合わせる必要があります。

- ステップ 5** MS-SPRing または SNCP リングからノードを削除したあとにタイミングの確認が必要な場合は、「[DLP-D195 縮小されたリングで使用されているタイミングの確認 \(p.18-88\)](#)」を参照してください。
- ステップ 6** 「[NTP-D108 データベースのバックアップ \(p.15-6\)](#)」を実行します。

終了：この手順は、これで完了です。

NTP-D205 ユーザの変更とセキュリティの変更

目的	この手順では、ONS 15454 SDH の ユーザ プロパティとセキュリティ プロパティを変更します。
工具 / 機器	なし
事前準備手順	NTP-D30 ユーザの作成とセキュリティの割り当て (p.4-4)
必須 / 適宜	適宜
オンサイト / リモート	オンサイトまたはリモート
セキュリティ レベル	プロビジョニング以上のレベル

ステップ 1 「[DLP-D60 CTC へのログイン \(p.17-53\)](#)」を実行します。すでにログインしている場合は、ステップ 2 へ進みます。

ステップ 2 「[NTP-D108 データベースのバックアップ \(p.15-6\)](#)」を実行します。

ステップ 3 必要に応じて次の作業を行います。

- [DLP-D271 ノードセキュリティ ポリシーの変更：単一ノード \(p.19-83\)](#)
- [DLP-D272 ノードセキュリティ ポリシーの変更：複数ノード \(p.19-84\)](#)
- [DLP-D437 ノードアクセス権限と PM クリア権限の変更 \(p.21-28\)](#)
- [DLP-D193 プロビジョニング ユーザへのスーパーユーザ権限の付与 \(p.18-86\)](#)
- [DLP-D158 ユーザのパスワードとセキュリティ レベルの変更：単一ノードの場合 \(p.18-52\)](#)
- [DLP-D160 ユーザのパスワードとセキュリティ レベルの変更：複数ノードの場合 \(p.18-53\)](#)
- [DLP-D159 ユーザの削除：単一ノードの場合 \(p.18-52\)](#)
- [DLP-D161 ユーザの削除：複数ノードの場合 \(p.18-54\)](#)

ステップ 4 「[NTP-D108 データベースのバックアップ \(p.15-6\)](#)」を実行します。

終了：この手順は、これで完了です。

NTP-D87 SNMP の設定変更

目的	この手順では、ONS 15454 SDH に設定されている SNMP を変更します。
工具 / 機器	なし
事前準備手順	NTP-D34 SNMP の設定 (p.4-13)
必須 / 適宜	適宜
オンサイト / リモート	オンサイトまたはリモート
セキュリティ レベル	スーパーユーザのみ

ステップ 1 「[DLP-D60 CTC へのログイン](#)」 (p.17-53) を実行します。すでにログインしている場合は、ステップ 2 へ進みます。

ステップ 2 「[NTP-D108 データベースのバックアップ](#)」 (p.15-6) を実行します。

ステップ 3 必要に応じて次の作業を行います。

- [DLP-D273 SNMP トラップ宛先の修正](#) (p.19-86)
- [DLP-D163 SNMP トラップ宛先の削除](#) (p.18-56)

ステップ 4 「[NTP-D108 データベースのバックアップ](#)」 (p.15-6) を実行します。

終了：この手順は、これで完了です。
